

南海トラフ地震対策行動計画（第5期 令和4年度～令和6年度）の概要

第74回本部会議
資料2-1

1. 南海トラフ地震対策行動計画とは

- 地震による被害の軽減や発災後の応急対策、速やかな復旧・復興に向けた事前の準備など、県や市町村、事業者、県民がそれぞれの立場で実施すべき具体的な取組をまとめたトータルプラン
- 揺れや津波から「命を守る」対策、助かった「命をつなぐ」対策、復旧・復興期の「生活を立ち上げる」対策の3つのステージごとに取組を推進
- 防災対策の基本的な考え方を定めた「高知県地域防災計画（地震及び津波災害対策編）」や、推進方針を定めた「高知県強靱化計画」の実行計画

2. 南海トラフ地震対策の方向性

- 幅を持たせた地震を想定し、対策を実施
- 「自助」「共助」「公助」が互いに連携し、県全体の防災力を向上
- 多重的な対策を講じることにより早期に復旧・復興を実現

3. 計画の対象とする地震

対策に万全を期していくため、規模の異なる二つの地震を想定して取り組む

- 何より尊い人命は、発生すれば甚大な被害をもたらす**最大クラスの地震・津波(L2)**からも確実に守ることを目指す
- 応急期、復旧・復興期の対策については、発生頻度の高い**一定程度の地震・津波(L1)**も視野に入れ取り組む

5. 第5期行動計画のポイント

これまでの南海トラフ地震対策行動計画を土台として、

- ・「命を守る」対策に引き続き最優先に取り組みながら、
- ・助かった「命をつなぐ」対策を着実に実行します。
- ・また、「生活を立ち上げる」対策を充実させ幅広く展開します。

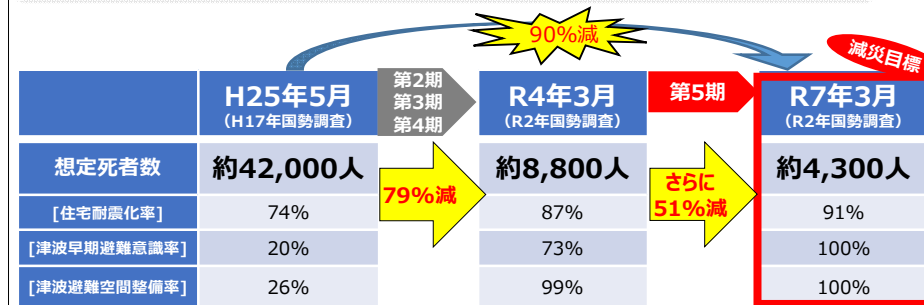
◆ 主な策定方針

- 進捗状況を定量的に評価するための数値目標を設定するなど、それぞれの取組について、明確な成果指標を設ける。
- 早期の復旧・復興、生活再建に向けて、復興業務手順の検討や被災者支援体制の構築など「生活を立ち上げる」対策を充実させる。
- 第4期行動計画から開始、重点的に取り組んでいる対策については、第5期行動計画で完了させられるよう取組を強化する。

◆ 重点的に取り組む課題

- 命を守る
 - ①住宅の安全性の確保
 - ②地域地域での津波避難対策の充実
- 命をつなぐ
 - ③前方展開型による医療救護体制の確立
 - ④避難所の確保と運営体制の充実
 - ⑤地域地域に支援を行き渡らせるための体制の強化
 - ⑥高知市の長期浸水域内における確実な避難と迅速な救助・救出
 - ⑦応急活動の実効性を高めるための受援態勢の強化
- 生活を立ち上げる
 - ⑧早期の復旧・復興に向けた取組の強化
- 共通事項
 - ⑨要配慮者支援対策の着実な推進
 - ⑩啓発の充実強化による自助・共助のさらなる推進

4. これまでの対策による減災効果と第5期行動計画の減災目標



【第5期行動計画における進捗管理の在り方】

策定方針に基づき、原則として**成果指標による定量的な目標設定**を行ったうえで、南海トラフ地震対策推進本部会議・幹事会において、取組ごとに、目標に対する実績の到達率に応じた**5段階評価**を行うことで、**進捗状況を可視化する**。



たいさくくん



ヘルバちゃん

高知県防災キャラクター
©やなせたかし

【第5期行動計画において拡充する主な重点課題】

◆ ⑧早期の復旧・復興に向けた取組の強化

- 一日も早い日常生活再建のため、事前復興まちづくりの取組や県の復興体制づくりを具体化し、被災者の個別ニーズに対応できる支援体制の構築を検討する。
- 市町村の事前復興まちづくり計画の策定
 - 県の復興組織体制(案)、復興方針(案)、復興手順書の策定
 - 災害ケースマネジメント体制の構築 など

◆ ⑩啓発の充実強化による自助・共助のさらなる推進

- 津波早期避難意識率100%の実現、若年層や女性等の主体的な参画による地域の防災力強化、「南海トラフ地震臨時情報」の認知度向上に向けて啓発を強化する。
- 県民の防災意識向上のための情報提供・啓発の充実強化
(既存の啓発に加え、まんが・アニメによる啓発やVR体験コンテンツ等を展開)
 - 臨時情報や事前避難対象地域の周知の強化 など